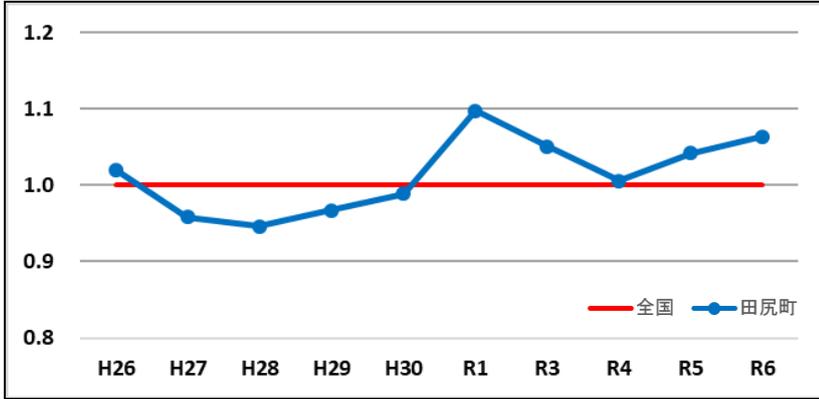


□ **結果概要** 全国平均を上回った

目的や意図に応じて集めた情報を分類したり関係付けたりすることができている。特に事実と感想、意見とを区別して書くことにおいて高い習熟が見られ、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができている。一方で、修飾と被修飾との関係や主語と述語の関係を抑えることについて課題が見られる結果となった。

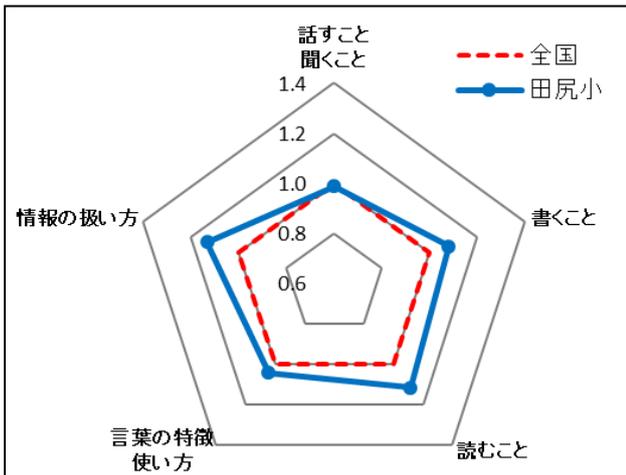
□ **正答率の状況** (全国平均正答率を 1.0 とした場合の田尻町の平均正答率)

◇ 正答率対全国比 経年比較

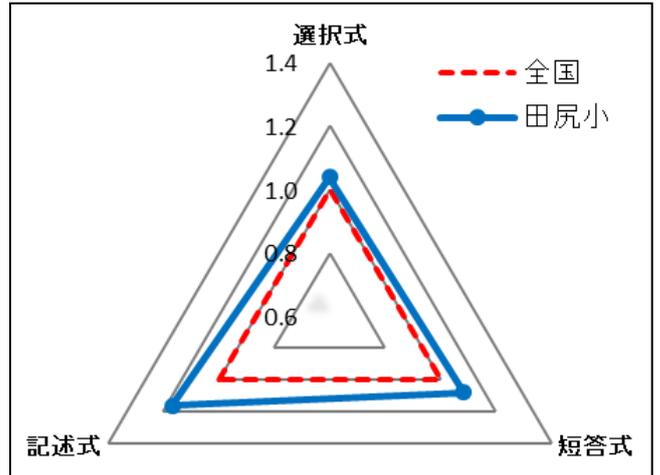


昨年度全国平均を大きく下回っていた「書くこと」「情報の取り扱い」に関しては、今年度は全国平均を上回る結果となった。問題形式においても「記述式」が全国平均を大きく上回っていることから一定の成果が得られている。

◇ 正答率対全国比 領域別比較



◇ 正答率対全国比 問題形式別比較



□ **具体的な児童の状況等** (○：成果 ●：課題)

**○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる問題について**

正答率が 98.5%であり、全国平均を約 12 ポイント上回った。集めた材料を書く目的や意図に応じて内容ごとにとまとめたり、それらを互いに結び付けて関係を明確にしたりして、伝えたいことを明確にすることができている。引き続き、情報を整理して表現する教育活動の充実が求められる。

**○人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかどうかをみる問題について**

正答率が 84.6%であり、全国平均を約 12 ポイント上回った。登場人物の行動や会話、様子などを表している複数の叙述を結び付け、登場人物の相互関係により性格や考え方を判断することができている。また、表現の仕方に着目し、登場人物の相互関係や行動、会話、心情を抑えることができている。引き続き、詩や物語、伝記などを読み、内容を説明することや、自分の生き方などについて考えたことを伝え合う言語活動を充実させる必要がある。

**●文中における主語と述語との関係を抑えることができているかどうかをみる問題について**

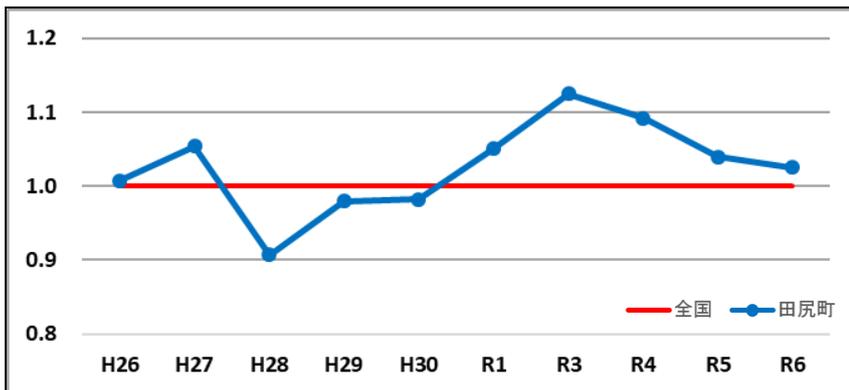
正答率は 61.5%であり、全国平均を約 1 ポイント下回っており、主語と述語の関係を抑えることに課題があると考えられる。文章の内容を理解したり表現したりする場合には、文中での語句の役割や語句相互の關係に気を付けて、文がどのように組み立てられているかを理解することが重要である。主語を「～は」「～が」を手掛かりに形式的に判別するのではなく、文章の構成を理解したうえで、主語と述語の関係を捉えることが大切である。

□ **結果概要** 全国平均を少し上回った

数量の関係を捉え、式で表すことや除法において除数と商の大きさの関係について理解することについては大きな成果が得られた。一方、図形を構成する要素やそれらの関係性について理解することや、その構成の仕方について考察することに課題が見られた。また、道のり・速さ・時間の関係について言葉や数を用いて考察したり記述したりすることに課題が見られた。

□ **正答率の状況** (全国平均正答率を 1.0 とした場合の田尻町の平均正答率)

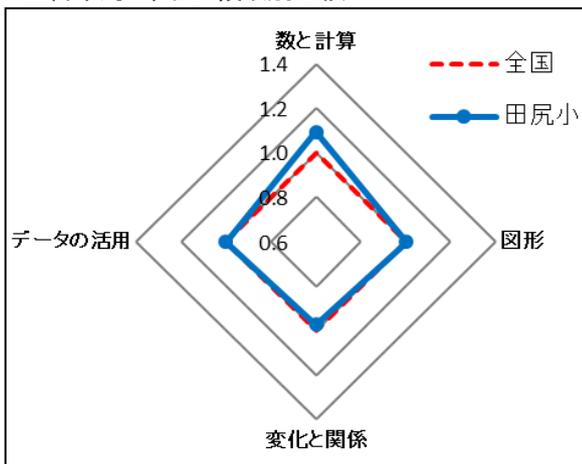
◇ 正答率対全国比 経年比較



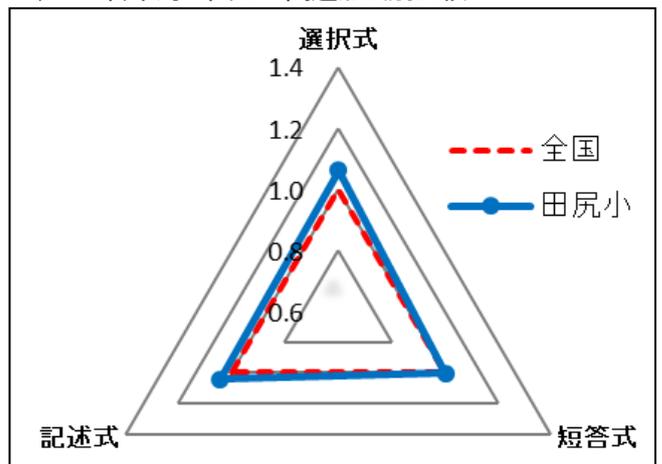
多くの領域で全国平均を上回ったが、「変化と関係」の領域では全国平均を下回る結果となった。

問題形式については「選択式」「記述式」ともに全国平均を上回ったが、「短答式」では僅かに下回った。

◇ 正答率対全国比 領域別比較



◇ 正答率対全国比 問題形式別比較



□ **具体的な児童の状況等** (○ : 成果 ● : 課題)

○問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる問題について

正答率は 75.4% で、全国平均を約 13 ポイント上回った。加法を用いる場合において、問題の文脈に沿って数量の関係を整理し、式に表すことができている。数量の関係をつかみにくい問題や事象については、図などを用いて視覚的に数量の関係を捉える工夫が必要である。

○除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係について理解しているかどうかをみる問題について

正答率は 81.5% であり、全国平均を約 12 ポイント上回った。多くの児童が、除数と商の大きさの関係を理解しており、計算の結果について考察することができている。今後も具体的な日常生活の場面を算数の学習と関連付けながら計算過程や導いた結果について考察する活動が必要である。

●直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解しているかどうかをみる問題について

正答率は 67.7% であり、全国平均を約 4 ポイント下回ったことから、直径と円周の関係や円周率の意味を理解することに課題があると考えられる。図形を構成する面や辺等の位置関係に着目しながら、立体図形を見取図や展開図で表したり、逆に見取図や展開図から立体図形を構成したりすることができるようにすることが大切である。